

2014年度 前期		リフレクションペーパー						
学科名	生物環境化学科							
科目名	情報処理Ⅲ							
科目区分	リテラシー科目	単位数	3	開講時期	2年次前期			
必修・選択の別	選択科目							
担当者	染矢 博徳							
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータなどの情報機器の仕組みを理解し、身近な情報機器を活用できる。</li> <li>・システム開発やセキュリティの知識を身につけることができる。</li> <li>・企業活動の情報化に必要な知識を得ることができる。</li> <li>・ITパスポート試験の合格レベルのスキルを身につけることができる。</li> </ul>							
日程と内容	<p>第1回：導入講義：授業の進め方と概要、成績評価法の説明、企業と法務について学習する。</p> <p>第2回：企業と法務について学習する。</p> <p>第3回：経営戦略について学習する。</p> <p>第4回：システム戦略について学習する。</p> <p>第5回：開発技術について学習する。</p> <p>第6回：プロジェクトマネジメントについて学習する。</p> <p>第7回：サービスマネジメントについて学習する。</p> <p>第8回：基礎理論について学習する。</p> <p>第9回：コンピュータシステムについて学習する。</p> <p>第10回：コンピュータシステムについて学習する。</p> <p>第11回：技術要素について学習する。</p> <p>第12回：技術要素について学習する。</p> <p>第13回：技術要素について学習する。</p> <p>第14回：まとめ</p> <p>第15回：定期試験を実施する”</p>							
成績評価基準	定期試験	100%	実技	0%	臨時試験	0%	部外評価	0%
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%	課題	0%		
	演習	0%	計	100%				
授業到達目標の達成度	集中講義が40回あったので、問題演習の時間が取れITパスポート試験合格の実力が養成できた。国家試験をペーパーテストで実施していたときと同じくらいの合格率である30%の合格率が達成できた。							
反省点	夏休みの集中講義になると、出席率が20%~30%低くなる。これに対する対応が十分ではなかった。							
来年度の計画	夏休みの集中講義を前倒しにして、土曜日に実施したため、履修が早く早期に受験が可能になったこのため、合格率が昨年度の15%から30%に改善できたと思われる。来年度も継承していきたい。各章ごとの理解を定着させるために今年度よりもさらに演習問題の数を増やしていきたい。							
授業評価アンケートに対するコメント	おおむね良好と判断できるが、授業の内容が理解できていない学生も若干名いるので、今以上にきめ細かいフォローが必要。							
履修登録者数	34名	定期試験 受験者数	30名	合格者数	27名	合格率	90%	